

■お客様の
施工現場より■

床下に調湿炭の敷き込み/松戸市河原塚 A様邸

築約30年、建坪22坪の木造モルタル2階建てのお住まいで、約5年程前に耐震診断を実施し、大地震の発生時に「倒壊の可能性が高い」と言う診断結果が出たため、「壁の補強と柱・土台の引き抜き防止金物の取付」のご依頼をいただきました。

そして、このたびは、キッチン・浴室・トイレ等の水廻り、さらには、居間・廊下をも加えた、1階床下全体の環境を改善する目的で、調湿炭の敷き込み工事のご依頼をいただきました。

この調湿炭の主な特長は、湿気によるカビの発生防止、防蟻・防虫効果、腐朽菌や雑菌の繁殖抑制等、人の健康や建物の環境を守るための優れた木炭材料でもある健康炭です。

さらに、最近、トイレの下壁廻りのクロスにカビの発生も見られるため、床から腰高の壁を解体撤去して、下地に石膏ボードを張って、その上に湿気を吸って結露やカビの発生を抑える調湿壁材を取り付けました。

このたびの工事でお住まいの耐震性のみならず、床下の環境も改善されてこれからは健康で快適な生活を送られることと思われます。

■ひとり言■

こんにちは。エムエスホームの佐原です。春のお彼岸も過ぎましたが、朝晩はまだまだ寒さが続いております。

このたび、岩手、宮城、福島を襲った東北大地震は、大正12年の関東大震災以来の大災害となりました。ご家族を亡くされ、お住まいを失われました被災者の皆様には心よりのお見舞いを申し上げます。そして、一日も早い復興に向けて立ち上がっていただきますよう切望しております。

今回の被災地の状況を見ておますと、平成7年1月に発生した、阪神淡路大地震とは異なり、個々の建物の倒壊による被害というよりも、大津波がもたらした沿岸全体にわたる広域な災害であったことが印象に残ります。そして、もし、この大津波の発生がなければ、この様な大災害の規模には至らなかつたのではないかと思います。そして、今回の大津波は、今までの想定を遥かに上回る規模で、世界有数の巨大な防潮堤でもある人工建造物が防災として全く機能しなかつたことが明らかになりました。このため、阪神淡路大地震の発生後、現在でも、国や地方自治体が力を入れている、既存木造住宅の倒壊を防ぐ、耐震補強対策だけに留まらず、今までの常識的な地震対策の発想を転換し、将来の大地震・大津波に向けての新たな防災対策が緊急に問われることとなります。



生活と住まいの情報をみなさんにお届けします

爽風市川通心

卯月
うつき
4月号

爽やかな風が私たちの街と心を吹き抜けてゆく VOL.25 2011年4月

知
得
する
住まいの
あれこれ

子ども部屋を考える

子ども部屋は子どもたちが一番長く過ごす空間です。情操や知力を育み、健康に暮らすためにはとても大切な空間です。インテリアや間取りについても、しっかり考えたいですね。

- 1.楽しく遊ぶ 2.ゆっくり眠る 3.しっかり勉強する

子ども部屋の用途は、主にこの3つです。ただし、成長するにしたがって、それぞれの比重が変わってきますので、将来を見据えて計画を立てると良いでしょう。



子ども2人のお部屋レイアウト計画

幼児期

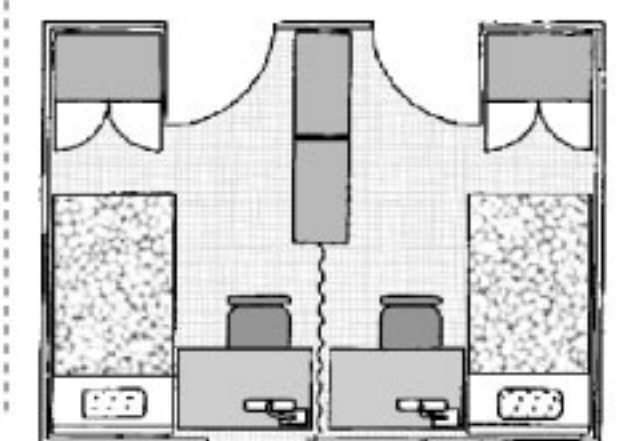
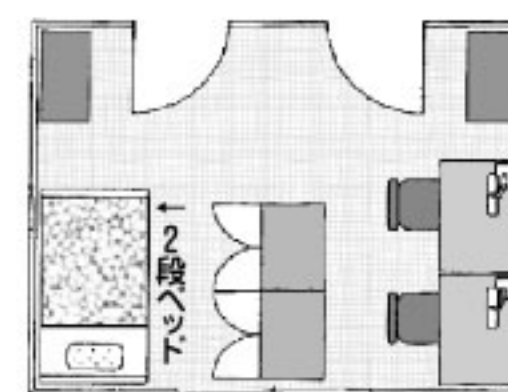
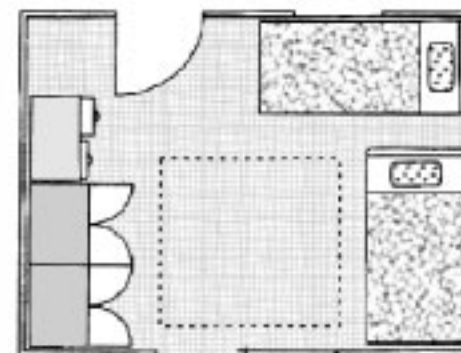
まだ勉強する習慣がないので、デスクは不要です。遊び用空間を真ん中に大きく設け、楽しい部屋になるよう心がけます。

小学生

インテリアの統一性を考えると、兄弟2人分の机を同時に購入するのがよいかもしれません。真ん中に収納用の家具を置き、勉強スペースとベッドを分けることで、集中して勉強する習慣を作ることができます。

中学生

そろそろ個室が欲しくなる時期。図のように、出入り口が2つあると、お部屋を分離するのが簡単です。収納家具やカーテンを利用すると、プライバシーを確保できます。



プラン作成の鍵は「明るさ」「サイズ」「収納」

子どもの性別や、人数、住まいの広さなど、ご家庭の事情はさまざまですから、レイアウトはそれに合わせて考える必要があります。

- 照明は、お部屋全体を均一に照らすものと、勉強するコーナーをしっかりと明るくできるものを用意しましょう。
- 家具は、成長に合わせて変えられるものを。椅子や勉強机の高さは大切です。
- 片付けの習慣をつけさせるためには、おもちゃなどをしっかりと収納できるクローゼットや家具を用意すると良いでしょう。

子ども部屋は居心地が悪い方がいい？

実はこんな考え方もあります。あまり居心地の良い空間を与えてしまうと、そこに引きこもってしまい、社交性を育むことができない、というのです。

実際、子ども部屋ではなく、リビングなどで勉強している子どもの方が成績がいい、という報告もあります。



■リフォーム・増改築の専門店■

有限会社 **エムエスホーム**

千葉県知事建設業許可(般-17)第42746号 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合員

フリーダイヤル ☎0120-541-209

〒272-0824 市川市菅野4-18-27 TEL:047-323-2280 FAX:047-323-2285

ホームページ………<http://www.ms-home.com>



営業 9:00~18:00 休日 日曜・祝日

